

# 自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2009. 6. 7 No.3

北海道ボランティア・レンジャー協議会

## セイヨウオオマルハナバチ

公園内でもセイヨウオオマルハナバチが見られます。このハチはトマトやナスなどのハウス栽培での受粉を助ける昆虫として1992年頃から輸入されました。このハチがハウスから逃げ出し野生化し、急激に分布を広げています。一方、北海道にはエゾオオマルハナバチなど11種の在来種が生息し、野生植物の受粉に欠かせない存在になっていますが、セイヨウオオマルハナバチが繁殖すると、餌や巣の競合により在来種が駆逐されたり受粉に依存する植物が減少させられる心配があることがわかつてきました。それはセイヨウオオマルハナバチには、花の根元に穴を開けて蜜を盗む「盗蜜癖」があり、植物は受粉が成立しなくなるからです。

### 【特徴】

#### ・セイヨウオオマルハナバチ

あざやかな黄色のえりまきと、真っ白いお尻が特徴です。

#### ・エゾオオマルハナバチ

黄色いえりまきはセイヨウの方があざやかです。お尻は濃いオレンジ色です。

	セイヨウオオマルハナバチ	エゾオオマルハナバチ
住んでいる場所	草地	草地・樹林
巣をつくる場所	地中	地中
舌の長さ	短い	短い

国では平成18年9月1日、セイヨウオオマルハナバチを外来生物法で「特定外来生物」に指定し、飼育、保管、運搬等を規制すると共に飼養者に対しては野外逸出防止の適切な施設を整備し管理を行うことなど万全な対策を講じることを義務付けました。

道でも平成19年5月の外来生物法に基づく「防除実施計画」を作成して、計画的な防除活動に取り組むようにしたり、ボランティアの捕獲者を募っています。捕獲者には「防除従事者証」や「腕章」を貸し出しています。セオヨウオオマルハナバチの駆除に多くの人達が関心を示し活動してはいかがですか。この問い合わせは次の通りです。

石狩支庁 地域振興部環境生活課自然環境係 ☎ 011-204-5824

## 7月の観察会予定

### ◆初夏の森観察会

7月5日（日） 10:00~12:30 ふれあい交流館集合

緑の濃い森の中で、初夏に咲く野草や樹木の葉の観察をしてみましょう。

### ◆オオハンゴンソウ駆除活動

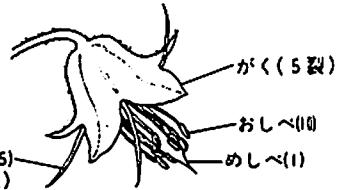
7月26日（日） 10:00~14:00 ふれあい交流館集合（昼食、車手持参）

## 観察ポイント

### ◆ズダヤクシュ

ズダヤクシュがまとまって咲いています。ズダは喘息の病気の信州方言です。ヤクシュ（薬種）は薬になるという意味です。大変変わった形をした花です。舌を出しているような部分が雌しへです。糸状に飛び出しているのが花弁で、白く目立っているのが萼片です。

学名 *Tiarella polyphylla* の属名 *Tiarella* は縦にしてみると、この果実の形を古代ペルシャ人の王冠の一種 *tiara* にみたてつけられたものです。



### ◆ミズキ

ミズキの花が咲いています。水平に張り出している枝に白い花がみごとです。ミズキ（水木）の由来は、春、地中から多量の水を吸い上げ、枝を折ると、したり落ちるほど樹液が多いからだといわれます。

属名 *Cornus* はラテン語の角を意味し、材が緻密で硬いため、この材質を活用して民芸品のこけしゃ独楽（コマ）、菜箸などに利用しています。また昔からの風習として、ミズキの枝に飾り物をつける飾り木に使います。

ミズキはアイヌの人たちにとって神聖な木といわれて、天国では「キハダは金、ミズキは銀、ハンノキは銅になる」と言い伝えられ、神を祭る行事に使われていました。

### ◆エゾハルゼミ

天気がよく気温が上がると、うるさいほどエゾハルゼミの鳴き声が森に響き渡り、せっかくの野鳥のさえずりが聞こえなくなります。みんな一斉に鳴いていて張り合っているような感じがします。ご存じの通り、北海道では一番メジャーな森林性のセミです。

エゾとありますが、北海道以外にも分布しています。北海道には、11種類のセミが分布しているといわれますが、エゾハルゼミの鳴き声が終り7月に入ると、エゾゼミ、コエゾゼミの出番になります。

### ◆キビタキ

「ピッコロロ、ピッコロロ」と美しいキビタキのさえずりがすぐ近くに聞こえます。キビタキの雄は頭部から背面にかけて黒く、眉斑、腹部、腰は黄色、翼に白い斑、喉は橙色がかっていて森の緑の中で目立ちます。そんなところからか、英名はナルシス・フライキャッチャーと呼ばれ自己陶酔（ナルシス）に因んだ名が与えられています。

## 地球環境用語

### 北海道環境スピリット

「3つの心」を大切にしよう その3 自然と共生する心

私たちは「自然と共生する心」を大切にします。自然や森林を守り育み、自然と調和した暮らしにこころがけます。

- ・知床世界自然遺産をはじめとする原生的な自然から、身近にある森や川までしっかり守ります。
- ・自然のしくみをよく理解し、自然の恵みを賢く利用することに取り組みます。